

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	坂田 雅和
研究テーマ	アーネスト・ヘミングウェイの遺伝・事故・病気と作品に現れるテキストとの関係性の研究
研究概要	ヘミングウェイの鬱の遺伝的要素、後天的な「事故」である外的要因による 5 回にも及ぶ脳震盪（外傷性脳傷害）、過度の飲酒、高血圧、そして双極性障害（躁鬱病）から、後天的な「事故」、「病気」、そして「遺伝」と作品に現れるテキストとの関係性を解明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>本年度は、アーネスト・ヘミングウェイが遭遇した事故による頭部外傷と、その影響によって生まれた「奇妙な感覚」が、描かれた作品に潜むその内容に着目し、頭部外傷の影響がヘミングウェイの作品に深くかかわっている可能性を明らかにすることを試みた。「奇妙な感覚」とは、慢性外傷性脳症・脳震盪後症候群の影響による頭部外傷の後に起こる、作品の中に現れる時間と場所の変容のことを表した。ヘミングウェイが体験した頭部外傷と作品に描かれた表現を、大きく 3 つの作品を中心に、体験した事実とそこに現れる表現を考察した。ヘミングウェイはその感覚が脳震盪の影響であること知り、その感覚が描き出す時間と場所が変容した光景を、作家の天賦の才能として作品を描いたと考えた。しかしながら更に作品に描かれた内容を考察すると、そこには既にヘミングウェイ自身も気づかない認知症の後遺障による影響が作品に現れていたと考えられる。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①学術論文：「受け継がれたもの—アーネスト・ヘミングウェイの遺伝疾患について—」『融合文化研究』第 28 号 34-47 頁、国際融合文化学会（2020 年 6 月、査読有）</p> <p>②学術論文：「ヘミングウェイと頭部外傷—伝記的事実を通じて頭部外傷とテキストとの関係を辿る—」『佛教大学総合研究所紀要』第 28 号 50-64 頁、佛教大学総合研究所（2021 年 3 月、査読有）</p>
3. 今後の課題	<p>研究課題の中心であるアーネスト・ヘミングウェイの遺伝疾患、並びに頭部外傷とテキストの関係性の研究において、遺伝疾患と頭部外傷が密接に関わっており、テキストに現れていることが見えてきた。今後、更に研究を進めるにあたり、テキストと関連資料の検討を行い、博士論文を完成させる。</p>